



神宮の御敷地にお白石を敷き詰める「お白石持ち行事」(昨年八月)

第六十二回 伊勢式年遷宮

参宮団ご案内

昨年、二十一年に一度の国家の重儀である伊勢神宮の式年遷宮が行われました。当社では、参宮団を結成し、遷御された新社殿に伊勢参りを行います。また、若干の参加が可能ですのでご案内申し上げます。

- 一、日程 平成二十六年一月二十七日から二十九日の二泊三日
- 二、参加申し込み人数 若干名 先着順
- 三、参加費 五五〇〇円
- 四、主な行程(予定)
 - 【初日】 出発く伊勢外宮参拝 鳥羽温泉泊 【二日目】 伊勢神宮内宮、御垣内参拝、下呂温泉泊 【三日目】 高山市内散策飛騨総社参拝又は世界遺産白川郷
- 五、申し込み期日 一月三日
- 六、その他 お問い合わせは神明社宮司宅まで。

★氏子費値上げのお願い

当社では、現在氏子の皆様方からの氏子費で神社の運営を行っています。不足分については神社収益分、賽銭等より繰り入れて運営して参りました。

昨年、第六十二回伊勢神宮式年遷宮も氏子の皆様方から赤誠の御奉賛を賜り無事執り行うことができました。当社でも兼ねてより本殿の老朽化が進み、改築が大きな懸案事項となっていました。

そこで、本件について十一月二十三日に総代会会議を開催し、総代の皆様にご説明申し上げ、氏子費の値上げについてご理解賜り決定させていただきました。

内容は、氏子費を従来の千円から二千円にさせていただきます。内五百円を将来の本殿改築に向け改築基金積み立て(年約五十万円)とし、残りの千五百円を氏子費とするものです。ちなみに県内神社の殆どが氏子費二千円から三千円です。値上げは、新年度からです。で宜しくお願い申し上げます。

月の原日記

昨年暮れ、安倍首相が靖国神社を参拝しました。平成十八年八月に小泉首相が参拝して以来七年ぶりです。第一次安倍政権の時に靖国神社に参拝できなかったことを「痛恨の極み」と嘆いており、今回の参拝は遺族を始め国民との約束を果たしたといえます。

国際社会においては、旧敵国同士であっても、互いに自国のために戦った戦没者の勇気を称え、敬意を表する。それが国際儀礼であり常識といえます。

戦没者の慰霊と歴史認識は異なるものです。アーリントン米国立墓地には先の大戦やベトナム戦争の戦死者も埋葬されています。わが国の首相はいつも同墓地に参拝していますが、仮にベトナム政府から大統領の戦没者追悼式参加に抗議があったとしても、それを理由に参列を躊躇する米大統領はいないと思います。それは、戦没者の慰霊・追悼と戦争に対する歴史認識とは次元が異なる問題だからです。

同墓地には、南北戦争で奴隷制度を守るために戦った南軍の将校も埋葬されています。しかし、アーリントン墓地に参拝するオバマ大統領が、奴隷制度を肯定しているという点にはなりません。

戦前戦後を通じ諸外国の要人は靖国神社を参拝しています。アジアでもフィリピン、タイ、マレーシア、インドネシア、インド、パキスタン、スリランカ、ミャンマー、さらにはイラン、トルコなど中東諸国からの参拝者もいます。

この年のこの日にもまた靖国のみやしるのことにうれひはふかし

昭和天皇御製

これは、昭和六十一年八月十五日、内閣総理大臣が中国共産党の不条理極まる誹謗攻撃で靖国参拝が挙行できるか否か国民の関心の的になっていた時に詠まれた昭和天皇の御製です。残念ながら日本国首相は中共の恫喝に屈服しての惨敗でした。

首相には、今後も堂々と二四六万余柱の英霊のために参拝されますことを切に望みます。

とめ 富の神明さま

発行所 三富富岡総鎮守神明社
社報第9号
〒359-0002 所沢市中富1507
社務所電話 04-2943-1709
宮司宅電話 049-259-2228

新年のご挨拶

三富富岡総鎮守

神明社

平成二十六年の新春を迎へ、謹んで新年の御祝詞を申し上げます。

天皇・皇后両陛下におかれましては、おすこやかに新春をお迎えになられましたこと、慶賀の至りに存じ上げます。

氏子崇敬会の皆様方におかれましては、ご健勝にて新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

昨年は、伊勢の神宮で第

六十二回式年遷宮の「遷御」の儀が滞りなく厳かに斎行され、檜の香りも芳しい新社殿に大御神がお遷りになりました。

式年遷宮は持統朝より千三百年の伝統を持つ、わが国最大の神事であり、すべてを清らかに改めることで、国も人も共に若返るとの崇高な理念の下に行われ、わが国の美風と伝統を培ってきました。

当社といたしましても本年一月二十七日から二十九日にかけて伊勢神宮式年遷宮を記念した伊勢参宮を行います。

神明の無辺のご加護をいただき、氏子崇敬者の皆様にとつて、本年が幸多き年になりますことを心よりお祈り申し上げます。

新年のご挨拶



総代会会長
新井 公一

新年明けましておめでとうござ
います。

氏子並びに崇敬会の皆様には、
健やかに新しい年をお迎えいただ
いたものとお慶び申し上げます。

さて、昨年は伊勢神宮では第
六十二回式年遷宮が執り行われま
した。式年遷宮は二十年に一度、
御正殿そして御社殿、御神宝をは
じめ一切を一新して新宮へ大御神
様にお遷りいただくお祭りです。
この式年遷宮は千三百年という永
い歴史があります。昨年は、伊勢
神宮では全国からの参拝者が過去
最高であったようです。

伊勢神宮は日本の一大聖地であ
り、国民から親しみを込めて「お
伊勢さま」と呼ばれ、日本人の心
のふるさとであります。そして伊
勢の民謡、伊勢音頭には「伊勢に
行きたい、伊勢路が見たい、せめ
て一生にいちどでも」と唄われ、
古く江戸時代から日本人なら一生
に一度はお伊勢参りをしたいとさ

れてきました。その願いは今も変
わりがありません。

当神明社でも埼玉県神社庁入間
支部の皆様と共に本年一月二十七
日から二十九日にかけて伊勢神宮
を正式参拝いたします。神宮の玉
砂利を踏み進み、五十鈴川の流れ
で心身を清め参拝したいと思いま
す。

新年を迎え氏子並びに崇敬会そ
して大勢の皆様にも赤誠のご奉賛を
賜りましたことをここに厚く御礼
申し上げます。

本年も我々の産土の神社発展の
ために皆様と共に尽力させていただ
く所存です。皆様方のご指導
ご鞭撻を宜しくお願い申しあげま
す。



平成19年のお木曳き行事

茨城県大洗磯前神社を訪ねて

平成二十五年総代会研修旅行記

恒例の神明社氏子総代会の研修
旅行が今年も二月二十八日、日帰
り研修で神明社婦人部のご協力を
得て、総数十九名の参加で行われ
ました。今回の研修地は、茨城県
大洗磯前神社でした。

当日、宮司宅を午前八時に出発、
関越、外環、常磐道を走り続け、
途中守谷SAで休憩し、目的地大
洗に伺いました。この日は生憎小
雨が降り続いており、太平洋の海
原、大洗海岸の波飛沫を車窓より
眺めながら目的地、磯前神社に到
着。小雨が降る中、全員で氏子の
幸と家族の安全を願いながら参拝
しました。

磯前神社は、景勝の地大洗岬の
上にあり、家内安全、海上安全を
守る神として古くから信仰を集め
ている神社です。今から一五七
年前に御鎮座され関東一円の総守
護神として遠近の信仰を集め栄え
ていましたが、永禄年間の兵乱に
より焼失、残った小社で辛うじて

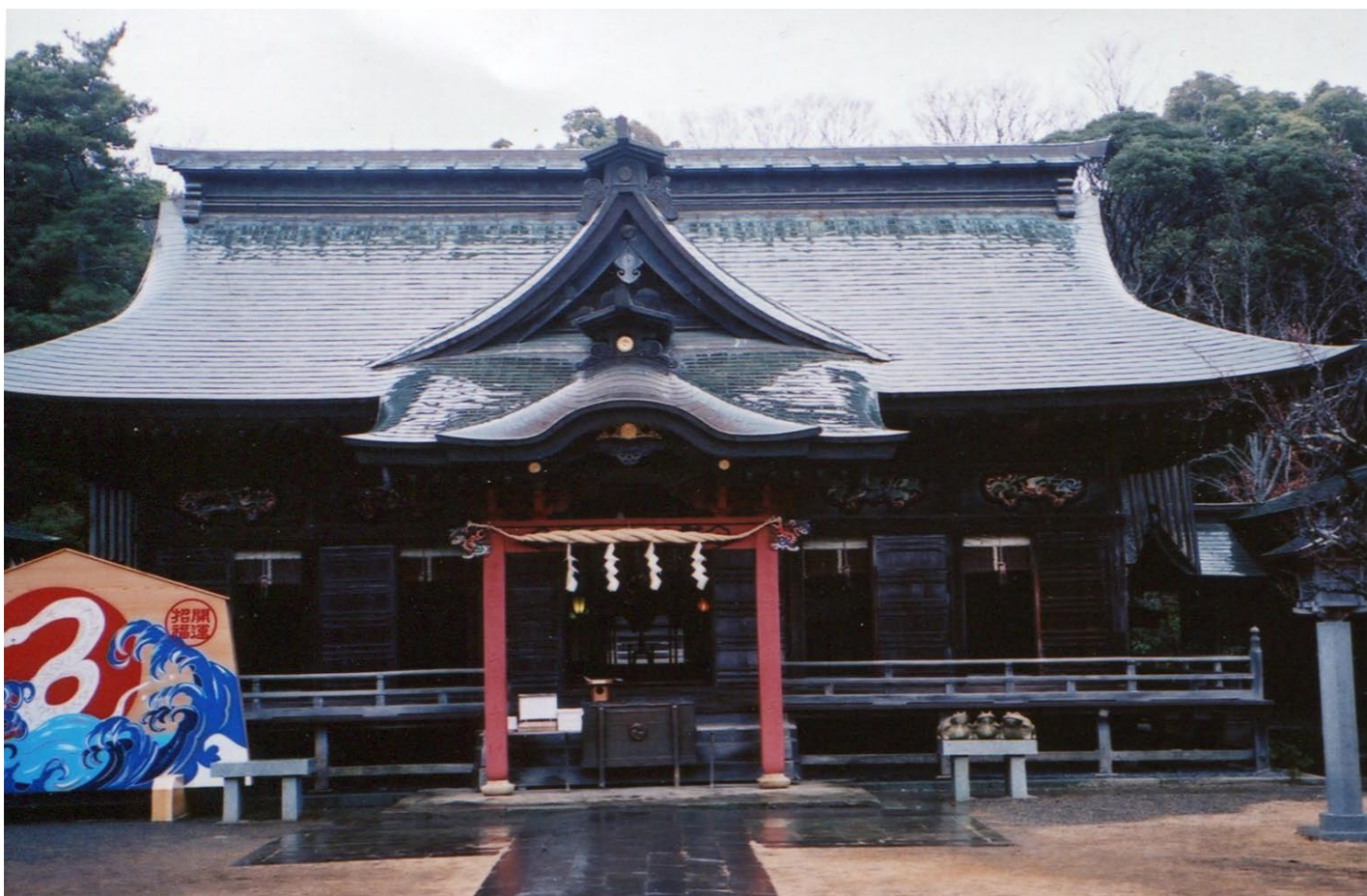
総代会副会長 本田 五郎

祭祀を続けていました。

水戸藩二代目藩主徳川光圀公
が由緒深き名社の荒廃を見るに忍
び、元禄三年御造営の工を起し、
三代藩主綱條公により本殿、拜殿、
神門に至るまで建造の工を竣え遷
座再興されました。社殿に施され
た彫刻とともに江戸初期の建築様
式を今に伝えており、県指定の文
化財にもなっています。

参拝後、大洗ホテルにて入浴、
酒の肴は旬のアンコウ鍋に舌鼓を
打ちながら昼食の短い時間を皆さ
んと楽しく歓談し、午後二時三〇
分に大洗に別れを告げ、那珂湊魚
市場を散策し、皆さん思い思いの
お土産を手に帰路の途に就き、全
員無事に帰着しました。

今回の日帰り研修にあたり、名
誉宮司をはじめ氏子総代さんのお
力添えをいただき、無事に楽しい
研修旅行できましたことを心より
御礼申し上げます。



総代会研修旅行 茨城県大洗磯前神社にて

★三富新田を『世界農業遺産』に

世界農業遺産 (Globally
Important Agricultural Heritage
Systems (GIAHS) : ジアス) は、
平成十四年、食料の安定確保を目
指す国際組織「国際連合食糧農業
機関」(FAO、本部：イタリア・ロー
マ) によって開始されたプロジェク
トです。

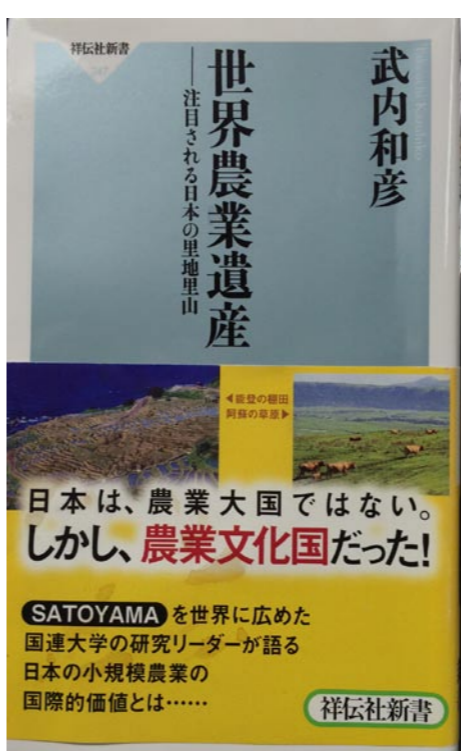
創設の背景には、近代農業の行
き過ぎた生産性への偏重が、世界
各地で森林破壊や水質汚染等の環
境問題を引き起こし、さらには地
域固有の文化や景観、生物多様性
などの消失を招いてきたことが挙
げられます。

世界農業遺産の目的は、近代化
の中で失われつつあるその土地の
環境を生かした伝統的な農業・農

法、生物多様性が守られた土地利
用、農村文化、農村景観などを「地
域システム」として一体的に維持
保全し、次世代へ継承していくこ
とです。

国際連合教育科学文化機関
(UNESCO (ユネスコ)) が推進す
る世界遺産が、遺跡や歴史的建造
物、自然など「不動産」を登録し
保護することを目的としているの
に対して、世界農業遺産は、地域
のシステムを認定することで保全
につなげていくことを目指してい
ます。認定地域は世界各国に広が
り、現在で二十五サイトとなっ
ています。

日本の里一〇〇選に選ばれた三
富新田の循環型農業は、世界農業



遺産としての
価値もある
との指摘もあ
り、武内和彦
氏の「世界農
業遺産」の中
でも紹介され
ています。

三富新田も紹介されている『世界農業遺産』